



北小だより

学 び い っ ぱ い
や さ し さ い っ ぱ い
元 気 い っ ぱ い

令和7年5月27日（火）

発行者：福島市立北沢又小学校長 高橋 哲也

運動会を終えて...

5月24日(土)、多くの保護者の皆様、地域の皆様にお出でいただき、予定どおり運動会を行うことができました。

当日までのご協力、子どもたちへの励ましのお声かけなど、本当にありがとうございました。おかげ様をもちまして、子どもたちは持てる力を十分に発揮し、まさに『仲間とともに あきらめないで 全力で』のスローガンどおりのがんばりを見せることができました。

そんな今年の運動会、私なりの感想を書かせていただきました。ぜひ、お読みください。

□ 『仲間とともに あきらめないで 全力で』の子どもたちの姿

とてもよいスローガンでした。そして、このスローガンどおりの姿がたくさんありました。

- ・ 種目が始まる前、「みんな、行くよ！」「勝つぞ！」と仲間に声をかける子どもたち
- ・ 他学年の種目も本気で応援！ 得点が入るたびに大歓声！
- ・ 勝ったときの素直で子どもらしいよろこびの表現、負けたときのくやしそうな姿
- ・ 自分たちは負けても相手に拍手を送る姿
(これが自然にできている子がたくさんいました！)



□ 運動会の意義

私としては、大きく2つの 意義を感じています。

子どもたちの“本気”を引き出す教育活動

その表情や態度から、多くの子どもたちの“本気”を引き出すことができたのではないかと考えています。あらためて“本気”を引き出すことの大切さを実感しました。

運動会に限らず、毎日の生活、毎日の授業でも、子どもたちの“本気”や“真剣さ”を引き出すことができるようにかかわっていきます。

保護者の皆様に見ていただける“うれしさ”

子どもたちにとって、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、おうちの皆様に見ていただけるという“うれしさ”は、何よりも大きな励み、力になっています。子どもたちの表情から、このことがとてもよく伝わってきました。

今後も、学校だけではなく、いつも保護者の皆様と同じ方向を向いて、一緒に子どもたちを支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

私たち教職員も「やってよかった！」と思える運動会でした。保護者の皆様のご協力に心から感謝いたします。この経験を子どもたちの自信につなげて、これからも支えてまいります。